



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2023年10月31日

11月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

「新たな運動会」いかがでしたか？

コロナが5類に移行したことに伴い、教育活動に制限がなくなりました。だからといって「これまでの形に戻せばよい」といえば、私たちはNoと考えました。これまでの運動会を見直し、今年目指した「新しい運動会」の姿は、「誰もが楽しくて、やりがいのある運動会」です。

これまでのように「勝った！負けた！」では、嬉しい人がいるのと同時に、悲しい思いをする人が作られてしまいます。学校には、運動が好きな人もいれば、そうではない人もいます。得意と感じる人もいれば、苦手と感じる人もいます。様々な気持ちで運動会を迎える人がいるのです。だから、足の速い子、スポーツが得意な子だけが楽しいこれまでのような運動会とは違うものにしたかったのです。勝つことだけが楽しいのではなく、だれもが体を動かす楽しさを感じられる、ひいてはそれが生涯スポーツ(見る・する・応援する)につながる「新しい運動会」を考えてきたつもりです。

私の見る限り、どの学年も練習を含めて「運動会」というより、普段の活動の延長だったり、自分たちがこれまで大切にしてきたことを表現したりと、工夫を凝らし誰もが楽しめるようになっていたように思います。子どもたちの晴れ晴れとした笑顔がそれを物語っていたように思いますが、それぞれのご家庭の様子はいかがでしたでしょうか？何らかの形で子どもたちの様子を学校にお伝えいただければ嬉しいです。



気持ちの良いあいさつ

後期の始業式でこんな話をしました。「今日はあいさつのお話です。毎朝正門前の横断歩道で、おはようと皆さんに声をかけながら旗振りをしています。元気に「おはようございます」と返してくれる人や、うつむきながら小さい声で挨拶してくれる人もいます。でも、中には残念なことに何も返さず無視する人もいます。とても悲しく寂しい気持ちになります。あいさつには、おはよのほかにも、こんにちは、ごめんなさい、ありがとうや、会釈・手を挙げるなどもあります。けれど、どんなあいさつにも必ずお返しがあります。それは、「あなたを認めていますよ」「あなたと同じ世の中で暮らしているよ」ということ互いに確かめるためです。そう考えると、あいさつをされたら必ずお返しをすることが大事ですね。あいさつを交わし合える、おうち・学校・地域にしていきたいと思いますよ。」

するとどうでしょう、次の朝から気持ちの良いあいさつがたくさん返ってくるようになりました。萩園方面から登校する子たちも道路の反対側から元気に「おはようございます！」の声をかけてくれるようになりました。本当にうれしく、そして「今日一日がんばらなきゃ！」という気持ちになります。ご家庭でも、あいさつを「交わす」ことを意識してみてください。あいさつの大切さと何か温かいものが胸にわいてくるのを改めて感じられると思いますよ。